

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	黒澤 清美	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9002		事務事業名称	一般管理事業						短縮コード	経常		臨時	9002
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		国民健康保険法第3条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
国民健康保険法に基づく，国民健康保険資格の取得及び喪失，保険給付に関する業務を行う。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして						
高齢化の進展による退職加入者の増加や長引く不況による雇用の不安定化に伴う社会保険離脱者の増加などから，資格確認事務の増加と複雑化に，制度改正による事務の複雑化により，資格管理と保険給付に係る事務負担が増している。今後は，年金情報の有効活用して資格管理事務を効率化することや給付手続きの簡素合理化などに取り組むことが求められると見込んでいる。						大項目（節）	03	第3節社会保険						
						中 項 目	01	1. 国民健康保険						
						小項目（施策）	01	(1)財政運営の健全化						
						細 項 目	02	②医療費（給付）の適正化						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	国民健康保険事業						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 国民健康保険資格の取得及び喪失，保険給付に係る一般管理業務						
	※平成25年度に計画していること： 国民健康保険資格の取得及び喪失，保険給付に係る一般管理業務						
意図 （何を狙っているのか）	国民健康保険資格及び保険給付の適正管理						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	国民健康保険事業総事業費	千円	19,018,436	18,581,489	18,332,732	18,720,491
	指標 2	国民健康保険事業特別会計繰出金額	千円	1,422,307	1,434,140	849,548	1,447,744
	指標 3						
活動指標	指標 1	国民健康保険加入世帯数	世帯	29,407	29,813	29,338	29,426
	指標 2	国民健康保険被保険者数	人	50,436	51,471	49,964	49,840
	指標 3	保険給付費の額	千円	12,433,442	12,769,202	12,230,490	12,504,723
成果指標	指標 1	一般管理事業費/保険給付費の額	%	0.4	0.4	0.4	0.4
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9002	事務事業名称	一般管理事業				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			年金情報の有効活用を効率的に行う手法及び高額療養費の給付手続きを効率化し受給者の利便性を向上させる改善がもとめられている。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			資格異動の適正化のための確認対象者の増加と高額療養費等の受給者の増加及び事務改善のための費用の増が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
保険証をキャッシュカードの様なしっかりした作りにしてほしいとの要望がある。	

所属長コメント	国保資格の取得・喪失に係る業務については、年金情報を活用して対象者への通知を実施するなど、一層の被保険者への利便性の向上に努めて行くとともに、高額療養費の支給申請事務についても、更なる利便性の向上が必要と思われるので、調査検討していくこととする。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	年金情報の積極的な活用に努めるとともに、高額療養費については申請案内（勧奨）の方法や申請手続きの事務の工夫が求められる業務であるので、請求時効により被保険者の不利益を招かない様に、最大限の配慮と利便性の向上に努めること。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		